

ここが聞きたい

# 一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

## 越水や決壊が懸念される河川の課題は

河川整備は局部的な改良では解決できず、費用と時間を費やすことが課題



長神 隆士  
自由民主党田原市議団



### 豪雨災害に備えた取り組みについて

**問** 本市には、県管理の二級河川が14本、市管理の準用河川が56本ある。豪雨の際、越水や決壊が懸念される河川の課題は。

**答** 家屋浸水を招いた河川から優先的に整備に取り組んでいるが、河川整備は局部的な改良では解決できない。拡幅整備では用地の確保や出水期を避けた工事の施工となるため、費用と時間を費やすことが課題である。

**問** 本市に149カ所ある農業用ため池のうち、防災重点ため池(※1)が46カ所ある。その現状と課題は。

**答** 国土強靱化対策として耐震診断等を行い、整備が必要と判断された場合、対策工事を実施する計画となっている。ため池は土地改良区や地元自治会の管理が多く、台風時の見回り、草刈りなどの日常点検や応急対応など、管理者の負担が大きくなっていることが課題である。

**問** 老朽化により防災重点ため池の耐久力が低下し、雨量の多い近年の集中豪雨では、余水吐(※2)の機能不足も考えられる。その対応は。

**答** 防災重点ため池は県が国費100%で耐震調査等のため池診断を順次実施している。堤体の強度調査や近年の降雨状況を加味し、余水吐の機能確認も実施することになっている。機能不足が判明した場合、県営事業等で改修工事を実施していく。

**問** 本市の土砂災害に対する取り組みは。

**答** 土砂災害防止施設の整備は県主体で行っており、着実な実施を県に要望している。また、土砂災害警戒区域等を掲載した田原市防災マップを全戸に配布等している。



※1 防災重点ため池  
決壊した場合、人的被害の恐れのあるため池

※2 余水吐  
大雨等の時、堤防の越水を防ぎ、安全に水を下流に流す施設